

環境保全に向けて、新たな取り組みがスタートしました。

「環境金融」としての活動をはじめ、多面的なCSR活動で地域に貢献

銀行としての本業である「金融」の役割を通じて、地球温暖化防止など、持続可能な社会づくりに貢献できる範囲はますます拡大しています。当行ではこのような使命をいち早く認識し、金融機関ならではのCSR(企業の社会的責任)の取り組みとして、さまざまな環境対応型金融商品・サービスを開発・提供し、地域や地元企業の皆さまの環境保全活動を支援しています。

「エコ・ファースト企業」として 「環境金融」により一層取り組みます

平成20年7月1日、当行は環境省が創設した「エコ・ファースト制度」において、金融業界初の「エコ・ファースト企業」として認定を受けました。

これは、当行が「カーボンオフセット定期預金『未来の種』」をはじめとする、多種多様な環境対応型金融商品を開発・提供するとともに、「エコビジネスフォーラム」の開催等を通じて、地域の環境ビジネスの支援に積極的に取り組んでいることが評価され認定に至ったものです。

“約束”の達成に向けて、「環境金融」の取り組みを一層進めてまいります。



滋賀銀行の「エコファーストの約束」

- 1 “お金の流れで地球環境を守る”との気概で、環境対応型金融商品を積極的に推進します。
- 2 地球温暖化の防止に向けた取り組みを積極的に推進します。
- 3 循環型社会の形成に向けた取り組みを積極的に推進します。

上記取り組みの推進状況を確認するとともに、その結果について環境省への報告及びCSRレポートによる公表を行ってまいります。

「エコファースト制度」とは

企業の環境保全に関する行動を更に促進していくため、環境省が平成20年4月に設けたもの。企業が環境大臣に対し、京都議定書の目標達成に向けた地球温暖化対策など、自らの環境保全に関する取り組みを約束する制度。

topics



平成20年11月から、上記の循環型社会の形成に向けた取り組みとして、しがぎんグループ全役職員の名刺を、従来使用してきた「再生紙名刺」から、役職員が環境ボランティアで刈り取ったヨシを活用した「ヨシ紙名刺」に変更しました。



エコビジネスマッチングフェアを初めて開催

平成20年7月、「エコビジネスマッチングフェア」を琵琶湖ホテルで初めて開催しました。これは、当行お取引先の皆さまに「環境に特化」した商談と交流の場を提供し、今後の事業展開のヒントや新しいビジネスパートナーを見つけていただくもので、環境ビジネスに積極的に取り組む企業75社が出展。当日は約1,800名の皆さまにご来場いただき、最新の環境情報の交換や商談が積極的に行われるなど、各ブースは終日にぎわいました。

ご好評いただいたため、平成21年6月にも開催を予定しています。



topics



このフェアは、地球環境に配慮したグリーン電力を利用して開催しました。

未来の「種」から「芽」へ ～預金と融資を地球環境保全で結ぶ～

お客さまからお預け入れていただいた定期預金の金額に応じ、当行が費用を負担して温室効果ガス排出権を購入する「カーボンオフセット定期預金『未来の種』」の取り扱いを、平成20年4月1日、国内の金融機関で初めて開始いたしました。

また、7月7日には「カーボンオフセット定期預金『未来の種』」による、地球温暖化防止への思いが込められたご預金を、環境配慮に先進的な事業者の皆さまや、温室効果ガス削減への取り組みで必要とされる資金にご融資する新商品「事業者向け環境配慮型融資『未来の芽』」の取り扱いを開始しました。

「温室効果ガス削減への思いが込められたご預金を原資に、温室効果ガス削減に取り組まれようとする事業先へのご融資で運用する」、まさに「お金の流れで地球環境を守る」という当行独自の「環境金融」です。両商品ご好評をいただき、お陰さまでご預金枠・ご融資枠ともに60億円に達したため、取り扱いは終了させていただきました。

エコのかけはし

